

第3, 4回アスリート実技講習会・やまびこ記録会 開催



さわやかな秋風が頬をつたう9月26日(土)、大月市営陸上競技場で第3回アスリート実技講習会が行われました。地区内小学校の運動会や新型インフルエンザ予防等の影響で、当日集まった小中学生は53名、スタッフ10名となりました。全員でのウォーミングアップ、つま先歩き、横歩き、後ろ歩きなどの基本練習から始まり、各種目に分かれて基本の動きと実践の指導が行われました。足の運び、踏み切りのタイミングの取り方、足の上げ方、腕の振りなど、種目によって必要な動きを子どもたちは少しずつ身につけていました。参加者数は前回の約半分でしたが、子どもたちの元気な声は扇山の山すそに広がっていました。



雨天が心配された10月3日(土)、朝晴れ間がのぞき、予定どおり第4回アスリート実技講習会(陸上競技記録会)が都留市やまびこ陸上競技場で行われました。悪天候が予想されたにもかかわらず小中学生100名余り、一般は数名の参加がありました。開会式が始まった後、雨が激しくなり、コート上の雨水を履きながら競技時間を変更してトラック競技が進められました。午後には雨は止み、フィールド競技も行われ、参加者は多くの種目に出場して自分自身の記録を確かめていました。競技の合間に子供たちの保護者20数名が参加したウォーキング教室も行われ、柔軟運動を手始めに理想的な歩き方を学んでいました。表彰式では、小学生・中学生・一般の記録上位者にメダルが渡され、一日の健闘を讃えました。また、歴代の記録を大幅に更新した種目もあり、参加者の皆さんは、次回(来年度)に向け、決意を新たにしていました。



青い麦の子大会 開催



9月30日(水)、南特連特別支援学級担当者研究会主催の青い麦の子大会が、小・中学生、教職員200名余りの参加をえてドギーパークで行われました。開会式は子どもたちの運営で進行し、参加30校の児童生徒から元気あふれた自己紹介が行われました。ふれあい集会は中学生が担当して、クイズ、じゃんけん列車、ダンスが行われ、校内をこえて子どもたちの親睦が深まりました。あいにくの雨模様で、その後のドッグショーも体育館の中で行われましたが、子犬から大型犬までの見事な演技に、子どもたちからの拍手と声援が富士山のふもとの赤松林に響き渡っていました。午後はドギーパーク内で散策や買い物をし、楽しい一日となりました。



南特連第2回学習会 開催



9月29日(火)、ふじざくら支援学校(萩原公子校長)で南特連第2回学習会が行われました。今回は事前のアンケートをもとに、カテゴリー別と同じ悩みを持つ4つのグループ(算数・国語、自閉症、進路・教育課程、視覚障害)に分かれて、それぞれの先生方から出された悩みを共有しながら指導の方向性をさぐりました。ふじざくら支援学校の教職員から、段階を追いながら指導する、場面に応じて教師が基準を示してあげる、子どもによって情報のとらえ方が違うことに注意して指導する等の適切なアドバイスをいただきました。熱心な話し合いが進められ、予定時間を超えたところもありましたが、違った事例を考えることで、さらに指導に幅が生まれると感じた一日でした。



富士河口湖高校で公開授業 開催



9月17日(木)、富士河口湖高校(渡邊芳信校長)で公開授業が行われました。教科は国語と数学で、県の指導主事、校内の教科担当・管理職それに近隣の小・中学校の教員が参加しました。習熟度によって少人数に分かれたクラスでの公開授業で、ベテランの先生が生徒一人ひとりの発言をじっくり聞きながら、手際よくまとめて進められていました。小・中学校の先生方は、机間巡視しながら卒業生に様子を尋ねたり、授業の様子を熱心にメモしていました。小・中学校の授業形態とは違った高校の授業を知る良い機会となりました。



シオジ森の学校Bプログラム 開催



9月5日(土)、6日(日)、シオジ森の学校「役立つものを作ろう」講座②が間明野公民館で行われました。当日の参加者は、森の間伐体験(5月30日実施)で落とした檜の枝を持ち寄り、これを材料にテーブルづくりに挑戦しました。講師の伊藤仁先生の指導のもと、電動サンダーで枝を削ったり、電動ドリルを使って組み立てを体験し、仕上げにニスを塗りました。そして、すばらしい自分だけのオリジナルテーブルが完成しました。最初は緊張して、難しいと感じていた子どもたちも、つるつるになるまでサンダーで枝を削ったり、電動ドリルを使った組み立て作業に取り組み、「楽しかった。うまくできた。」と嬉しそうに感想を話してくれました。「親子で作業ができ、立派なテーブルができて感激しました。」というお母さん方からも感想をいただきました。指導の伊藤先生からは、すばらしい作品が作れたことに、二重丸の評価をいただきました。



大月短大附属高校:韓国高校生研修団 来訪



9月28日(月)、韓国高校生研修団(高校生46名、引率教師3名、通訳4名)総勢53名が大月短期大学附属高校(小俣保春校長)を訪れました。これは21世紀東アジア青少年大交流計画にもとづき、外務省から委託を受けた「日韓文化交流基金」が実施している事業で、県観光部国際交流課を通じて依頼され実現の運びとなりました。当日、研修団は大型バス2台で午前10時に到着し、歓迎式典を行った後、2時間にわたり在校生と一緒に授業を体験し、午後は体育館で相互に芸能を披露しあうなど交流行事を展開し、楽しいひとときを過ごしました。



ひばりが丘高校で学園祭・授業公開 開催



9月1日(火)、ひばりが丘高校(森屋政文校長)で雲雀祭が行われました。午前中行われた生活体験発表では、各クラスの代表がそれぞれの体験の中で感じたことを自分の言葉で発表し、在校生たちはそれを自分の体験に置き換えて聞き入っていました。「夢を持とう」「資格を身につけよう」「理解者を大切にしよう」など、一人ひとりの発表には、十数年の重みを感じるものがありました。また、教室には地域の皆さんの指導により制作した見事なテーブル、卒業制作、陶芸作品、絵本など、工夫を凝らした創作授業の作品が展示されていました。午後は創作授業成果発表と芸術鑑賞会が引き続き行われました。数日前から「ひばりうどん」の試食もあり、見事な味に仕上がっていたとの評価もありました。



また、9月17日(木)、18日(金)には、昼間部・夜間部ともすべてのクラスで、第2回授業公開が行われ、教育関係者や保護者が高校を訪れました。クラスの人数は4・5名から20数名まで、クラスを習熟度にあわせて分けたり、ティーミングで指導したりと生徒に合わせた形態で授業が進められていました。授業の様子も独自のプリントを作成したり、パワーポイントを使ったり、チップを教具に使ったりと工夫をこらして分かり易く組み立てられていました。生徒の取り組みも学年が進むにつれて、真剣さが増し、教育には時間がかかることを痛感しました。



「明日の風」掲示板 (北都留)

- ☆ **第6回アスリート実技講習会**
期日:11月7日(土) 9:00~
場所:大月市営陸上競技場
- ☆ **一人一花運動 フォトライブリー開催**
期日:11月9日(月)~12月18日(金)
場所:北都留教育会館 9:00~17:00
- ☆ **伊藤知治教士剣道教室**
期日:11月21日(土) 12:00~
場所:猿橋小学校体育館
- ☆ **小林雅英投手野球教室**
期日:12月6日(日) 12:00~受付
場所:上野原市営桂川野球場

「富士の光」掲示板 (南都留)

- ☆ **富士河口湖町長さんと語る会**
期日:11月4日(水) 14:00~
場所:富士河口湖町役場コンベンションホール
- ☆ **富士吉田市長さんと話す会**
期日:11月5日(木) 14:10~
場所:富士吉田市民会館6階小ホール
- ☆ **都留子ども議会**
期日:11月12日(木) 14:00~
場所:都留市役所議会議場
- ☆ **第3回南特連学習会**
期日:11月17日(火) 15:30~
場所:ふじざくら支援学校

———本掲示板についての問い合わせ先———

富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ TEL 0554-45-7841 FAX 0554-45-7823